鈴鹿市立長太小学校だより　No.14　R８．１０．９

おおくす



運動会は、全力で、もえて、がんばりました！！

10月3日（土）、さわやかな秋晴のもと、令和8年度の運動会が行われました。先月は雨の日が多く、運動場での練習は例年よりもはるかに少なく、完成度にばらつきがあったことは否めませんが、一人ひとりが、自分にできることを精一杯取り組んだ結果、すばらしい運動会になりました。









当日は、少し暑いくらいのさわやかな晴天に恵まれ、子どもたちは、**「全力！もえろ！長太小パワー！」**のスローガンのもと、元気いっぱい競技や演技に取り組んでいました。特に、練習を重ねてきた表現運動は、どの学年も、迫力ある演技を完成させることができました。

また、高学年は、運動会を成功させるため、責任をもって係の仕事に取り組んでいました。

当日は、たくさんの方に観覧していただき、温かい声援と拍手をたくさんいただきました。





おかげさまで、子どもたちにとって、大きな行事をやり切った達成感と、楽しかった思い出が、心に残るすばらしい運動会となりました。ありがとうございました。



長太のシンボル大楠について学ぶ　～4年生　大楠の学習　～



10月6日（火）、4年生が、樹木医の中村先生に大楠についての話を聞かせてもらいました。

長太の大楠は、田畑の真ん中に一本だけで立つ、全国的にも珍しい巨木で、樹齢は千年近くになるそうです。この大楠は、これまでに、根元の皮を削られてしまったり、圃場整備による用水路工事で太い根を切られてしまったり、近年は落雷の被害にあったりと、何度も命の危機に直面しながら、今まで生き抜いてきたようです。

10月26日（月）には、大楠の近くに出向き、写生を行う予定です。巨木の迫力や、生命力を表現できたらすばらしい絵が描けることでしょう。

【大楠の写生は、学校だより「おおくす」№13 で、19日とお知らせしましたが、26日に変更になりました。】

鈴鹿市の無形民俗文化財を学ぶ　～3年生　鯨船の学習　～

10月1日（木）から、3年生が鯨船行事の学習に取りかかりました。今年も鯨船保存会の皆さんにお世話になり、これから１か月をかけて、子どもたちは、地域の伝統行事を学んでいきます。

第１回目の学習は教室で、保存会の皆さんから鯨船行事の由来、鯨の種類、歌、などについて詳しく教わりました。子どもたちはとても興味を持ったようで、お話を聞いている途中でたくさんのつぶやきがありました。また、質問の時間には、次々に手を挙げ、たくさんの質問をしていました。





第2回目の学習は、10月7日（水）、公民館の駐車場で「天王丸」の写生をさせてもらいました。子どもたちは、船の形や船に載っている道具、美しい装飾品などの様子をいろいろな角度から描いていました。

第3回目の10月15日（木）からは、体育館で動き方や歌の練習が始まります。子どもたちは、①鯨の操作、②太鼓叩き、③歌い手、④踊り子の4つのパートに分かれ、それぞれの役割を保存会の皆さんに教えていただく予定です。

一連の練習を積み重ねた後、11月10日（火）に3年生の子どもたちによる保護者向け発表会があり、続く11月11日（水）に全校集会での発表があります。

なお、10月10日（土）～11日（日）にかけて、鯨船行事の本番がおこなわれます。4～6年生の有志メンバーが参加し、長太の町内を巡回していきますので、ご都合がよろしければ、ぜひ、本物の「鈴鹿市無形民俗文化財」をご覧いただけたらと思います。